

総務省主権者教育アドバイザー

高橋 一之 (たかはし かずゆき)

NPO法人DAKKO事務局長
神奈川県明るい選挙推進協議会委員

1991年生まれ 神奈川県出身
明治大学公共政策大学院修了 公共政策修士（専門職）



学生の頃から、若者向けの主権者教育の活動に従事する。NPO法人DAKKOには前身団体（NPO法人YouthCreate）から関わり、現在は事務局長。団体の活動全般に携わる。

これまでに「明るい選挙参院選全国フォーラム」「秋田県明るい選挙啓発フォーラム」「佐賀県女性議員ネットワーク」などで講演。世田谷区明るい選挙推進協議会委員やNPO法人Curiosity理事などを歴任した。



個人ウェブサイト

事例① 地方議会が取り組む主権者教育に協力

神奈川県寒川町議会は2024年6月、「主権者教育の推進」を明文化した議会基本条例を全国で初めて制定しました。この条例に則り、同年11月に若者と議員で、まちづくりカードゲームの体験と意見交換を行う「寒川町議会ユーストークcafé」を開催。条例制定に至るまでの伴走支援（研修）や、ユーストークcaféの準備・進行を担当しました。



「寒川町議会ユーストークcafé」の様子



DAKKO作成のまちづくりカードゲーム

事例② 子育て世代を対象とした選挙啓発活動

子どもに親が投票する姿を見せることで、選挙を身近に感じ、将来の投票行動にも影響がみられるという総務省の調査結果を参考に、子育て世代を対象とした選挙啓発活動を実施しています。

※総務省「18歳選挙権に関する意識調査」(2016年)

2023年8月、神奈川県寒川町長選挙を前に、選挙管理委員会や地元の子育てサークルと共同で「子育て×選挙コラボレーションイベント」を開催。投票箱や計数機などを使い、子どもに選挙体験をしてもらいました。その親には選挙啓発チラシやグッズを配布しました。



NPO法人DAKKO

NPO法人DAKKO（ダッコ）は2012年設立（2020年に現名称に変更）。事務所の所在地は東京都足立区。

若い世代でつくる主権者教育団体で、全国各地の選挙管理委員会や教育委員会などと協働して、社会について考える対話の場作りや政治体験のプログラムを展開しています。

2024年3月に、明るい選挙推進協会の「明るい選挙推進優良活動表彰」を受賞しました。



DAKKOの活動としては、主権者教育の出前授業に力を入れています。政治的中立性を担保した上で、児童・生徒に対して、政治や選挙について考えるプログラムや、実際の選挙で使われる投票箱・記載台などをお借りして「模擬選挙」を行っています。

また、全国各地で、若者と地方議員の交流会「Voters Cafe（ボーターズカフェ）」を開催。若者に政治や選挙へ関心を持ってもらい、投票行動を促すことを目的としています。

2025年3月、仙台市選挙管理委員会と共同で「Voters Cafe in 仙台 2025」を開催しました。前半は議員の人柄を知る「議員トークセッション」、後半は「仙台市のまちづくり」をテーマにワールドカフェ形式で意見交換を行いました。



中学校での「模擬選挙」の様子



「Voters Cafe in 仙台 2025」の様子

ぜひお気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。